

色麻町教育委員会の事務の管理及び執行状況  
についての点検及び評価の結果報告書

(平成21年度実績)

平成22年9月

色 麻 町 教 育 委 員 会

## Ⅰ はじめに

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成21年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を聴取し報告するものです。

色麻町教育委員会は、毎年策定する教育基本方針に基づく具体的施策や重点事業等の実施状況について点検及び評価を行い、学識経験者の意見を聴取したうえで、課題や今後の改善方策を明らかにするとともに効率的かつ効果的な教育行政の推進を図ることとし、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することにより、町民に対する説明責任を果たし町民に信頼される教育行政を推進するものです。

平成22年9月

色麻町教育委員会

### 関係法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 実施概要

### (1) 評価の対象

教育基本方針に基づく具体的施策や重点事業等の実施状況について点検及び評価を行いました。

### (2) 対象期間

平成21年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

### (3) 評価の観点

教育基本方針に示す具体的施策等について，成果と課題を明らかにした上で，次に示す5区分により達成度を評価しました。

	大変満足
	概ね満足
	普通
	やや不十分
	不十分で改善必要

## III 結果

### (1) 評価等の結果

評価	大変満足	概ね満足	普通	やや不十分	不十分で改善必要
項目数	15 (7.8%)	109 (56.8%)	62 (32.3%)	6 (3.1%)	0 (0.0%)

### (2) 公表の方法

町ホームページに掲載します。

## IV 目次

### 教育の重点

1	教育委員会運営事業	1
2	事務局運営事業	2
3	小・中学校教育の充実	2
4	幼稚園教育の充実	2 0
5	教職員の資質の向上と福利厚生	2 3
6	学校環境の安全並びに教育施策の充実と活用	2 4
7	生涯学習推進計画に基づく生涯学習の推進	2 6
8	生涯各期の課題に応じた学級，講座等の充実	2 7
9	文化・芸術活動の振興	3 0
1 0	文化財保護体制の整備充実と活用の推進	3 1
1 1	生涯スポーツの推進	3 2
1 2	図書室・図書等の有効利用の推進	3 4
1 3	情報技術・視聴覚教育の充実と振興	3 4
1 4	外国青年英語指導助手招致事業	3 4
1 5	奨学事業運営事業	3 5
1 6	児童生徒の通学確保に関する事業	3 5
1 7	幼稚園児の通園確保に関する事業	3 5

### 学識経験者による意見書

	意見書	3 6
--	-----	-----

# 色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成21年度事業)

## 色麻町教育基本方針

色麻町の美しい自然の中で、すべての人々が支え合い、豊かな人間形成と生き生きしたふるさとづくりを旨とし

○確かな学びの力とやさしさ・たくましさを培う学校

○学びとうるおい絆のある家庭と地域社会

○色麻の文化の創造と活力あるスポーツの展開

を重点に、本町の未来を展望しながら、町民の生涯にわたる学習の充実に努める。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
1 教育委員会運営事業					
		(1) 教育委員会委員活動の事務執行に努める。			
		①教育委員会の開催	毎月1回の定例会や臨時会を開催し、教育長から提案された議案を審議した。また、所管する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行った。 小中一貫校施設建設位置については町長に進言をした。 議案 28件 協議 11件 承認 2件	④ 概ね満足	会議資料の事前配布は議事進行、審議の深まりに効果的であり、提案された議案について慎重な審議が行え、教育行政の円滑な運営に寄与できた。 小中一貫校施設建設位置については、小中一貫教育推進委員会の意見を最大限尊重し、町長に進言することができた。今後も、未来を担う子どもたちのために最良の教育を模索し、我が町の教育システムを確立して行きたい。
		②学校訪問	年1回、11月に各学校を訪問し、教育委員会で定めた教育方針に添った学校経営や指導計画がなされているか、校長から説明を受けるとともに、学習指導の状況、教育活動について意見交換を行った。	③ 普通	校長や主要教員からの説明を聴取することで、各学校の学習指導の状況や教育活動の実態を把握することができた。 ただ、インフルエンザの影響により清水小学校の訪問が出来なかったのが残念だった。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
2 事務局運営事業					
(1) 教育全般にわたる事務の適正な処理に努める。					
	①就学に関係すること	入学通知, 転校, 区域外就学の手続き。		③ 普通	適正かつ遺漏無く執行されている。また, 区域外就学については, 保護者の希望を最大限尊重し結論を出している。
	②教科書, 教材の取扱いに関係すること	教科書の無償給付に関する事務。		③ 普通	良好に執行できている。
	③教育関係職員の研修に関係すること	研修の案内及び希望者の取りまとめと申請。		③ 普通	様々な研修に参加させ, 児童生徒の指導に活かしていく必要がある。
	④学級編制に関係すること	職員の定数及び学級数に関する事務。		③ 普通	良好に執行できている。
	⑤教育に関する調査, 統計に関係すること	学校基本調査及び地方教育調査の実施。		③ 普通	良好に執行できている。
3 小・中学校教育の充実					
(1) 地道で確実な学校経営による創意と活力に満ちた学校づくりに努める。					
	①校長会・教頭会	学校経営全般, 教育課題等を議題として校長会は月例とし, 年12回。教頭会は年3回実施し協議した。小中一貫校準備をはじめとした小中間の共通理解を図る場とした。		④ 概ね満足	定例のみならず臨時の会合を通して, 町教育方針や小中一貫校への取り組みに関して共通理解が図られた。今後, 校長・教頭会のみならず各職階, 分掌間での協議の場が必要である。
	②街頭指導	毎月10日・20日・30日や春・秋の交通安全週間時に, 校門や町内数カ所で職員が立って, 登校してくる児童生徒にあいさつをしたり安全指導を行い, 交通安全の意識を高める取り組みを行った。冬季は, 場所を伊達神社の信号機脇へ移動し行った。また, PTAの安全部も, 6月と9月の木曜日に街頭指導を行った。		④ 概ね満足	日頃から交通安全意識を高める手立てを工夫する必要がある。 冬場は, 雪道で滑る危険がある伊達神社の信号機脇に移動して安全指導をしているのは, 交通事故防止の点から重要である。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		③あいさつ運動の実施	<p>(色小)毎月5日・15日・25日は、教職員と地区代表保護者が東西昇降口に立って、登校してくる児童にあいさつをしている。5～6年の児童で組織する福祉委員会も、毎月数回、朝に東西昇降口に立ってあいさつ運動を行っている。</p> <p>(清小)水曜日に、各学校の昇降口において、PTAや地域の方々の協力を得ながらあいさつ運動を実施した。</p> <p>(色中)生徒会から全生徒へあいさつ運動への参加を呼びかけ、4月～6月には部活動単位で、また、7月～3月は学級単位で、登校時に昇降口で運動を行った。保護者にも協力をお願いし、9月～10月に地区ごとに時期を分担し、生徒の活動と同様の運動を実施した。</p>	④ 概ね満足	<p>元気なあいさつをする子どもと、まだ声が小さかったり自分からはあいさつをしない子どもがいるが、進んであいさつできる子どもが増えてきた。交通指導隊や地域で街頭に立つウォーキングパトロール隊の方々からは、「親しみを持って元気にあいさつをしてくれる人が多い」と喜びの声が聞こえている。今後もこうした活動を地域の協力を得ながら継続してほしい。</p>
		④スクールプランへの取組	<p>校長のグランドデザイン、数値目標を設定したスクールプランを掲げ、全校及び各学年の段階に応じた目標達成のために実践してきた。</p> <p>&lt;全校でめざす内容&gt;</p> <p>①基礎・基本の確立をめざす漢字習得・「漢字マラソン」への取組 全校75%以上の合格</p> <p>②生徒全員のあいさつ</p> <p>③ボランティア活動への参加</p> <p>&lt;各学年での内容&gt;</p> <p>1年 学び方と学習基盤の確立</p> <p>2年 文武両道</p> <p>3年 毎日2時間以上の家庭学習の実施</p>	④ 概ね満足	<p>数値目標を達成するために、目標に対する生徒によるアンケートから、数値は十分に満足できるものであった。ただ、アンケート趣旨の理解やアンケート質問内容をさらに吟味し、「生徒の心の声」が聞けるような内容を模索していく必要がある。</p>
		⑤校訓を常に意識させる校長講話・諸掲示	<p>「聡明」「強健」「誠実」の校訓を、校長講話では常に取り上げ、また、教室に掲示するなどして、めざす学校像を生徒に意識させてきた。</p>	⑤ 大変満足	<p>各教室に校訓が掲示されており、生徒全員に校訓及びめざす学校像が周知されている。学校の「拠り所」として、色麻中校訓は、必須のものになっている。</p>

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		⑥生き生きと躍動する学校	子どもを何よりも大切にし、学校全体での指導体制づくりを推進した。	④ 概ね満足	保護者からも、子どもの姿が成長したという評価をいただいた。今後も常に「生き生きと躍動する学校づくり」を念頭に置いた議論をすることが大切と考える。
(2) 創意ある教育課程の編成と実施に努める。					
		①教育課程の編成	(小) 各行事終了後や学期毎に反省を行い、各種教育法規、町の教育基本方針などに則り、特色ある教育課程の編成を行った。教職員の検討会や全保護者へのアンケートを行い、各種行事や教育課程の見直しや改善すべき点の検証を行った。 (中) 指導要領の完全実施に対応した教育課程づくりを行った。また、PDCAサイクルに基づき、①学校評価(職員による自己評価)②学校関係者評価を実施した。教職員による検討会や保護者からの意見を集約し、課題の検証を行った。	③ 普通	反省を生かしながら、新学習指導要領の指導計画を作成してほしい。 また、小中一貫校開始を見据え、総合的な学習の時間等の系統性を図っておく必要がある。 小中一貫校のスタートに合わせて計画的に独創的な教育課程の編成に取り組んでほしい。
		②地域人材の活用	学校支援ボランティアやゲストティーチャーを活用し、社会・理科・家庭科などの授業や学校行事を行った。 保健体育、音楽の授業では専門的な内容の指導を図るために、特別非常勤講師を招聘し、柔道及び民謡の指導をいただいた。	④ 概ね満足	学校支援ボランティアなどには様々な面から支えていただき感謝申し上げます。 専門分野における教師の指導には限界があり、特別非常勤講師の活用はたいへん有効的であった。 今後も積極的に活用していくことが望ましい。
		③移行措置に伴う教育課程の編成	平成21年度の移行措置に伴う、理科と算数の指導内容の変更、1学年と2学年の体育の時間数の増加等を年間指導計画に折り込んだ。	③ 普通	全職員で移行措置の内容の確認をするとともに、平成23年度の完全実施にむけての準備も滞りなく進めてほしい。
(3) 確かな学力観に基づく学習指導の工夫・改善に努める。					
		①授業時数及び授業時間の確保	学力向上のためには、授業時数の確保が欠かせない条件である。そのために、行事の精選を図るとともに、諸会議の見直しを行った。	④ 概ね満足	授業時数は標準時数を越えてはいるが、純粋な授業時間確保に努めなければならない。さらに、諸会議の見直しや、出張等の精選を図る必要がある。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		②TT指導及び少人数指導	主に算数や数学で、年間を通しTT指導を実施した。また、外国語活動や英語でもALTを活用したり、少人数指導やTT指導を行った。	④ 概ね満足	TT指導及び少人数指導は、基礎学力の定着が図られ、学力向上に非常に有効である。今後も、更に教員の配置を工夫し、教科担任との連携・役割分担等効果的なTT指導のあり方を模索していく必要がある。
		③学力向上	授業時数にカウントしない学習の時間である「漢字マラソン」の時間を設定し、教科学習の基礎となる国語力を高めた。	④ 概ね満足	事前に出題する問題を提示し、その後確認テストを実施することで基礎基本の定着のみならず、学習習慣の確立にも役立っている。
		④国語を中心にした授業づくり	模擬授業研修を取り入れたり、事前事後の検討会を充実させ、指導力向上を図った。	④ 概ね満足	校内の研修体制が確立しており、国語を中心にして、授業力向上をさらに進めていくことが大切である。
		⑤長期休業中の個別指導	夏季休業中の1週間、個別に指導が必要な児童に対して、全職員で指導にあたった。	③ 普通	特に、遅れている児童を対象に今後も取り組んで実施されたい。
		⑥目指す児童像に設定	目指す児童像のひとつとして「考える子」をあげ、指導にあたった。	③ 普通	各学年部毎に、「考える子」の具体像をあげ、具現化に取り組んでいるのはよい。
		⑦地域人材の活用	5学年の田植えでは、農業委員会や土地改良区の方々から田植えの仕方の指導をうけた。また、田んぼに苗を植える印を付ける枠回しも見せてもらった。 エゴマ生産組合からエゴマの苗をもらい、早坂組合長に植え付けや刈り取りの指導を受けた。 大豆の収穫や豆腐づくりでは、加美農業高校の指導を受けた。	④ 概ね満足	地域の方々の協力で、とても貴重な体験を行うことができた。児童にとっては、地域を理解し地域を愛するきっかけになる活動であり、今後も地域の方々のご協力をいただいで継続していく必要がある。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		⑧校内研修の充実	「確かな読みの力を身につけ、自分の考えを豊かに表現する児童の育成」という研究テーマを設定し、学年部で模擬授業や事前授業を行い、全校研究授業は4回行った。学力向上成果普及マンパワー活用事業を利用し、他校の先生を色麻小学校にお呼びし模擬授業をしていただいた。また、サポートプログラム事業を活用し、県教育庁の指導主事先生のご指導を3回いただいた。	④ 概ね満足	マンパワー活用事業やサポートプログラム事業でいただいた指導は大変有用で、我々の研究の方向をはっきりさせてくれた。本校職員の校内研究への取り組みも、大変熱心で評価できる。
(4) 横断的、総合的な学習や探求的な学習活動の工夫・改善に努める。					
		①地域への提言を目指した体験学習の実施	職場体験学習や修学旅行中の職場訪問での体験学習を通して、働く意義を肌と感じさせる取り組みを行い、地域へ発信した。	④ 概ね満足	指導要領の改訂に伴う時数減に対応した新たな指導計画の作成と、小中一貫校を見据えた系統的なテーマや計画づくりが急務である。 JA等複数の広報で取り上げられた。協力いただいた団体に感謝したい。
		②生活科・総合的な学習の時間	第1～2学年の児童は生活科で郷土に関する身近な教材について学んだ。 第3～6学年の児童は、「共生」をテーマに自分たちのふるさと色麻について学習した。	③ 普通	時数削減に伴って、さらに吟味した指導計画を立案していく必要がある。
		③地域の人材活用	清水地区コミュニティセンターの世代間交流事業や協働教育事業として、エゴマ栽培や稲作などに取り組んだ。	④ 概ね満足	価値ある体験活動を今後も継承しつつ、地域の人材を最大限活用していくことが望ましい。
		④指導法改善委員会	少人数指導の具体的方法を指導したり、各教科においても探求的な学習が行われるよう(例えば、理科ならば問題点を自ら発見し、それを検証する実験も自分で考えることができることなど)、職員で指導法を研修している。	③ 普通	

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		⑤ステップアップタイムの実施	月曜日の掃除終了後の放課後に、一人一人の児童の実態に応じて発展的学習や補充的学習を30分ほど行っている。	④ 概ね満足	一人で練習問題を決めて進むことができる児童はプリント学習を中心に行ったり、つまづきがある児童には教師が付き添って指導を行っている。今後も継続して行ってほしい。
(5) 発達段階や学習内容に応じた評価の工夫・改善に努める。					
		①評価のモデリング	学期末・学年末の総括的な評価のために、学校で統一した評価のモデリングを行い、各教科間、各教科担任間での評価基準にずれがないように工夫した。	④ 概ね満足	今後も評価のモデリングを継続して実施してほしい。
		②授業内での形成的評価	指導と評価の一体化を図り、指導後に学習内容の理解度を確認する「単元テスト」を行い、次の指導に生かした。	④ 概ね満足	指導と評価の一体化の理念を踏まえつつ、より生徒の学びのようすをみとるために、レディネステストによる確認を充実させる必要がある。
		③CRTによる学力の把握	4月のCRTテストにより、生徒の前年度の学びをみとり、指導に生かすことができた。	④ 概ね満足	CRTにより、生徒個々の学力を把握することができた。ただ、その学力は一面に過ぎず、多面的に把握することが必要である。
		④評価方法の工夫	年間指導計画の評価基準を基に、プリントやノート、作品などの、日常的な評価と客観的な評価を生かして、一人一人を総合的、多面的に評価した。	③ 普通	日々の記録を大切にしていくことや、評価に関する研修会等も必要である。
		⑤通信表の評価項目の検討	通信表の内容の検討をととして、評価項目やその内容を検討し共通理解を深めている。	③ 普通	

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
(6) 健康でたくましい心身を育てる学校体育を推進する。					
		①教科体育	運動の楽しさを体験させることや保健での健康増進の授業を通して、生涯に渡るその必要性を指導した。	④ 概ね満足	授業では、各種競技を取り入れながら、運動の楽しさを体感させ、その必要性を指導することができている。ただ、個人間での運動量の差が大きいため、それを改善する必要がある。
		②校内持久走・マラソン大会の実施	持久走大会の1カ月以上前から、業間に校庭を走ったりしながら持久力の向上を目指した。体力づくりをねらいとした「校内マラソン大会」を実施し、持久力や忍耐力を養う一環とした。	④ 概ね満足	全校児童が外に出て、一斉に練習に励んだ。さらなる体力増進を図るため、今後も継続して実施してほしい。
		③朝・業間マラソンの奨励	朝の始業前(校庭を5周程度)と業間の時間をつかって、全校マラソンに取り組んだ。	④ 概ね満足	毎朝のランニングにより、授業への集中力や学習規律の面でも子どもたちの姿が向上した。また、早寝、早起き、朝ご飯が、より効果的であった。朝マラソンがある日は、朝ご飯をしっかりと食べ、前の日は、早く寝るといった子どもが増えてきた。今後の健康観察等に気をつけながら、継続していくことが必要である。
		④チャレンジデイへの参加	全校児童でプール清掃を行い、体を動かすよい機会となった。部活動単位での活動が主となっているが、文化部が運動を行ったり、草取りを行うなど、体を動かす、よい機会となった。	④ 概ね満足	プール清掃をこの日に重ね、町の行事に参加する態勢を整えた。また、今後は清掃作業だけではなく、一部スポーツを取り入れることを望む。生徒に運動を促すよい機会となっているので、今後も継続してほしい。
		⑤目指す児童像に設定	目指す児童像の一つとして「元気な子」をあげ、指導に取り組んだ。	④ 概ね満足	各学年部毎に、「元気な子」の具体像をあげ、具現化に取り組んでいるのはよい。
		⑥校内検定や表を使った意欲付け	水泳指導では、泳力の級認定を行っている。持久走大会では、事前練習で校庭を何週走ったかを表に表し、自主的に練習を行うように意欲づけを行った。	③ 普通	多くの児童は、校庭を走った回数を表に表すことに意欲を持ち、競って練習をしていた。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		⑦外遊びの推奨  ⑧各種大会への参加	休み時間は、外で遊ぶことを勧めている。雨天時や冬季は、講堂を学年ごとに割り当てている。  加美陸上競技大会、大崎陸上競技大会、宮城県陸上交流大会への参加は、学校がとりまとめを行い、放課後の時間を使って指導を行った。 郡中総体、2郡陸上大会ばかりではなく、部活動単位で行われる諸大会に積極的に参加した。	③ 普通  ④ 概ね満足	上位入賞者も多く、児童がさまざまなことに自信を持つきっかけになっている。 部活動単位の各種大会への参加は、各部顧問の負担や選手輸送、大会参加費等の課題をクリアしながら大いに奨励してほしい。
(7) 豊かな心で、たくましく生きる人間を目指す道徳教育を推進する。					
		①道徳教育  ②道徳の時間  ③「心のノート」活用の推進	道徳教育は、学校のあらゆる教育活動で行われていることを教職員間で再確認してきた。教職員の言葉遣いや所作等が生徒の手本となっていることを職員会議で話題とした。  道徳教育推進教師の指導計画のもと、道徳の時間の充実を図り、価値項目を網羅し、学校の実態に応じた道徳の時間をつくってきた。 各教科等・総合的な学習の時間・特別活動・生徒指導、学校行事などと関連させながら道徳性をはぐくんだ。  年間指導計画に基づき、道徳の時間のみならず、学活の時間や朝の会で時期に応じた活用を行った。 児童生徒が身につける道徳の内容をわかりやすく表し、道徳的価値について自ら考えるきっかけとして、「心のノート」を学校教育の様々な場面で活用し、児童生徒が自らノートに生活の様子や日頃感じていることなどを書き込み、それらを踏まえ児童生徒の考えなどについて意見交換を行った。	④ 概ね満足  ④ 概ね満足  ③ 普通	今後も教育活動全般が、道徳であることを教職員間で周知徹底し、職員自らが自らを律する雰囲気づくりに努めることが大切である。  前年度の反省を生かし、各種学校行事と道徳との関連を図った。 道徳の標準時数は確保されているが、授業内容の充実をさらに図っていく必要がある。  時数を確保し、指導計画にそった実践を行っている。 今後は、心のノートのさらなる活用を図るとともに生徒指導とタイアップした「心の健康調査」を実施してほしい。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		④全体計画の策定と指導の重点化	各教科、総合的な学習の時間、特別活動、生徒指導等に関連させた全体計画を作成し、その中で各学年部毎に重点を設定し、クラスの実態にあった指導を行った。	③ 普通	
		⑤目指す児童像に設定	目指す児童像として「やさしい子」をあげ、指導に取り組んでいる。	③ 普通	各学年部毎に、「やさしい子」の具体像をあげ、具現化に取り組んでいるのはよい。
(8)健康で安全な生活を送るための保健安全教育を推進する。					
		①身体測定	法令に基づいた身体測定を行い、生徒の身体的発達を把握した。また、測定結果を校長・教頭が確認し、例えば「身長が伸びているのに体重が減少している」といった事例について共通理解を図った。 学期ごとに3回実施し、児童が自ら「体力・運動能力調査記録カード」に記入し、成長の様子を確かめている。	③ 普通	養護教諭に任せるのではなく、他の職員も測定結果数値に目を通すことで、生徒の抱える課題や予想される疾病の予防や対策等についても協議できる。今後も協議の場を継続していく。
		②健康診断	内科、眼科、歯科、耳鼻科の健康診断を行い、治療が必要な児童には保護者に通知を出し対応した。	④ 概ね満足	検診結果は検診後すぐに家庭に知らせており、治療に役立っている。
		③学校保健	健康増進保持に必要な知識や習慣について、養護教諭、保体科教師が指導を行った。養護教諭による時機に応じた「保健だより」や諸掲示物における潜在的な指導は非常に効果的であった。新型インフルエンザが流行し、学年閉鎖等の対応を素早く行った。	④ 概ね満足	それぞれの取組で成果を挙げており、今後も継続してほしい。
		④学校保健・給食委員会	健康生活に必要な基本的事項を実践する習慣を身につけさせるため、特に、健康的な生活習慣の形成、う歯・視力低下の予防、清掃の徹底、性教育、酒タバコ、薬物の害に関することに重点を置き、校医・歯科校医・栄養士などの指導をいただきながら父母教師会役員などとともに、児童の保健について話し合った。	③ 普通	それぞれの取組で成果を挙げており、今後も継続してほしい。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		⑤外部講師による講話	虫歯予防デイにあわせ、歯科校医の先生に講話をいただいた。 薬物乱用防止教室を外部講師を招いて講話をいただいた。(色小は父母教師会と共催)	④ 概ね満足	児童の質問に歯科校医が説明する形で講話が進み、みな真剣に話を聞いていた。 薬物ばかりではなく、喫煙等今後子どもたちが経験するであろう健康を害する生活習慣についての話題を提供する場をさらに設定していく必要がある。
		⑥保健室経営案の作成	保健室の機能を向上し、健康相談等、保護者への啓発を行った。	④ 概ね満足	今後も開かれた保健室を目指し、児童や保護者が相談しやすい環境づくりと啓蒙を図る必要がある。
		⑦交通安全教室の充実	実際にスクールバスを走らせたり、運転席の体験をさせたりして、体験活動を取り入れた安全教室を実施した。	④ 概ね満足	今後も、継続して実施してほしい。
		⑧避難訓練の充実	業間時間の避難訓練など、日常的に防災の意識付けを図った。	④ 概ね満足	今後発生が予想される宮城県沖地震に備え、さらなる防災意識と危機意識を高揚させる必要がある。
		⑨安全点検	月に一回、職員が手分けをして、校舎内の施設設備や校庭の遊具を点検している。	④ 概ね満足	点検後、修繕の必要なところはすぐに修繕を行うように努力している。 法で定められた点検と合わせて日常的点検の心構えが大切である。
(9) 食生活に対する正しい理解と望ましい習慣形成を図る学校給食を推進する。					
		①生きた教材としての学校給食	今年度から施行された学校給食法の学校給食実施基準・学校給食衛生管理基準に基づいた学校給食を提供するように努めた。 色麻町内の食材を最優先に使用し、宮城県産、国産の順に選択し、できるだけ素材がわかる手作りの給食を目指した。	③ 普通	献立の作成ではすべての栄養素が基準を満たせるような献立の工夫をおこない、調理ではより安全に効率的にできるよう日々見直しと改善を繰り返し行っている。地場産食材の活用についても、旬の食材をできるだけ多く活用できるような献立作成、調理の手間を惜しまない姿勢が心がけられている。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		②給食だよりの発行	一週間の献立表・盛付図・ひとくちメモを全クラスに配布し、今日の色麻町の食材の紹介やおすすめの献立、食材の由来や歴史を紹介し、食べ物により興味・関心を高めるよう働きかけた。	④ 概ね満足	地場産品を取り入れた料理や、色麻町に古くから伝わる料理等の紹介があり、食に関しての意識を高めることができている。 放送内容がその日の給食時間の話題となるような働きかけがあるとさらに広がりがある。給食だよりに給食レシピの掲載の希望があるので、今後検討してほしい。
		③栄養士による栄養指導	給食指導の時間に色麻小学校・清水小学校・清水幼稚園の全クラスを訪問し、食に関する指導を行った。 また、保護者対象の給食試食会において、学校給食の目的について講話を行った。	③ 普通	給食を作る側と園児・児童との数少ない交流の場であり、給食センターに戻ってきた残食だけではわからない実態を把握することができているので、今後も継続してほしい。 また、指導を行った日だけではなく、その後の学級での指導も必要である。
		④給食試食会	PTA行事として、保護者も子どもと一緒に給食を食べる「給食試食会」を行った。栄養士から栄養指導の講話も受けた。	③ 普通	保護者は、栄養士の講話から食の大切さを改めて感じることができたようである。
		⑤校内放送による献立や食材の説明	給食時間に、校内放送で、その日の献立や栄養価、地域の食材の紹介、地域料理の紹介などを行い、健康に関する情報を提供した。	④ 概ね満足	その日の給食で使っている色麻の食材を知らせると、子どもたちは残さず食べようしたり、地域への誇りを持ったりすることができる。今後も継続すべき素晴らしい活動だと言える。
		⑥早寝・早起き・朝ごはん運動	学力向上パワーアップ支援事業に関連して、朝ごはんを食べたり、早寝早起きなどの望ましい生活習慣等について啓発を行った。	④ 概ね満足	標語やポスターの募集には、多数の児童が参加している。今後も望ましい生活習慣を身に付けるために、運動を続けてほしい。
		⑦学校給食週間の活動	給食委員会が中心となり、食材を提供している業者や農家の方、そして給食センターの栄養士を招いて感謝の会を実施した。	④ 概ね満足	生産者の話を直接聞く機会は少ないので、食の大切さを理解する大切な活動である。今後も継続して実施してほしい。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		⑧全国学校給食週間	<p>全国学校給食週間(1月)の行事の一環として、色麻町産、宮城県産の旬の食材を活用した献立を実施した。くわしい解説を全クラスに配布し、給食時間の放送にも活用した。</p> <p>清水小学校給食委員会の児童が全校学校給食集会の準備のため、午前の調理中に給食センター見学を実施した。</p> <p>色麻小学校・清水小学校において全校学校給食集会が行われ、町内の生産者の方々や給食センター職員への感謝の会や給食ができるまででの様子の紹介が行われた。</p> <p>清水小学校において調理員との給食会食会が行われた。</p>	③ 普通	<p>生産者や給食センター職員へ感謝の意を表してお手紙をたくさんいただき、感激するとともに今後の業務の励みになっている。</p> <p>給食ができるまでの様子を写真で紹介することで給食センターの仕事の一環を知らせることができた。</p> <p>直接、調理員の話聞くことにより、児童にとって給食がより身近なものになった。</p>
(10) 共感的な理解に基づく人間関係の確立を目指す生徒指導を確立する。					
		①積極的な生徒指導	<p>「凡事徹底」を合い言葉に、職員・生徒が日々の生活を送っている。生徒最優先の学校をめざし、生徒の善行をほめるための「章」を設定し、善行を励行した。</p>	⑤ 大変満足	<p>今後も受賞する生徒が増えるよう、日々の積極的な生徒指導をお願いする。</p>
		②学級・学年間の連携	<p>打合せや、定例の生徒指導会議を開催し、生活目標の達成具合や生徒指導上の出来事を報告し合い、児童生徒の理解に努め、児童生徒の自己理解と個性の伸長の支援に向けて、共通理解のもと取り組んだ。</p> <p>問題行動が発生した際には、生徒指導担当が情報のまとめ役となり、迅速かつ適切な対応を行うことができた。</p>	④ 概ね満足	<p>学年間の風通しが芳しくなく、問題行動解決が後手後手にまわりがちであるが、適切な対処により解決が図られている。</p> <p>また、全職員で同一行動を取るために大変重要な話し合いでもあるので、この指導体制を今後も持続しながら、さらなる体制づくりに努めてほしい。</p>
		③生徒会活動	<p>年度当初に、生徒会の提案により「いじめ撲滅宣言」を生徒個々が宣誓する活動を行っており、生徒の心の自浄作用が高められた。</p>	⑤ 大変満足	<p>生徒会活動が活発で、あいさつ運動やいじめ撲滅運動がなされている。生徒の自発的な行動はもちろんであるが、教師の指導が行き渡っており、今後も大切にしたい。</p>

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		④望ましい行動様式の育成	あいさつや身なり、時と場に応じた正しい言葉遣いなど、生活の約束に具体的に明示し、各教室に掲示するとともに、各学年の発達段階に応じて日常的な指導に心がけた。	④ 概ね満足	あいさつ運動を推進することによって、靴箱の整理や廊下の疾走も減り、効果を上げている。
		⑤朝会・学級活動・教育相談の充実	朝会で、その月の生活目標を話し、全校児童への徹底を図った。 朝や帰りの会の短学活や学級活動の時間を利用して、学級内の人間関係づくりや生活ルールに関する指導を行ってきた結果、効果が見られた。	④ 概ね満足	望ましい人間関係や生活ルールが確立されており、今後も継続して実施すべきである。 また、構成的エンカウンターやMAPなどの手法を研修し、さらなる充実を期待する。
		⑥教育相談の実施	児童をよく観察し、悩みや困っていることがあるような場合は積極的に話しかけたり相談に応じた。また、中学校に配置されているカウンセラーとの相談を勧めたり、夏休みに保護者との教育相談の日を設定した。	④ 概ね満足	教師は児童が普段と変わった様子をしていると気がつくことが多く、人間関係や健康面でも困った様子を事前に察知し、小さいうちに解決することができている。
(11) 生徒が自らの生き方を主体的に考える力をはぐくむ進路指導を推進する。					
		①進路指導計画作成	学級活動をはじめとした進路指導計画を整備し、三カ年を見通した指導を行った。各学年の指導について段階に応じた重点事項を掲げ、「進路指導が進学指導」ではなく、将来の自分を考えることであることを主に日々の指導に取り組んだ。	⑤ 大変満足	第一志望全員合格を達成したことは、数値目標をクリアしたことにはなるが、生徒個々が自己実現を果たせるよう今後も努力が必要である。
		②教師の講話	教師の生き方や講話は、生徒に大きな影響を及ぼすことを意識しながら、日々の教育活動にあたった。	③ 普通	教師による講話は格好の教材ではあるが、若い職員が多いために、その意図は十分に達成されていないように感じる。
		③学級活動の時間を使った指導	学習や働くことの意義や目的を、日常の些細なことから発見したり意識させるように努めた。	③ 普通	

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
(12) 郷土色麻を「知り」「愛し」「創る」ふるさと教育を推進する。					
	①総合的な学習の時間での活動	<p>(色小)3学年で「発見、色麻のよいところ」、4学年で「探検私たちの花川」「みんなにやさしい町、色麻」を行った。</p> <p>(清小)6年清水神楽、5年稲作体験、4年保野川探検、3年エゴマ栽培、2年町探検、1年自然観察などとおして色麻について学んだ。</p> <p>(色中)各学年に渡る系統的な指導を通して、色麻町を知り、掘み、考えをまとめ、そして発信する学習を実施した。</p>	④ 概ね満足	<p>子どもたちからは、色麻町に住み、そして地域から学び、ふるさとを大切にしようとする雰囲気がうかがえる。今後さらに、色麻の自然・歴史・産業・風土などを生かした単元を見なしていくことが大切である。</p> <p>また、学校支援ボランティアの支援に感謝したい。</p>	
	②地域素材の教材化	<p>4年生の社会科で、色麻の荒川用水の教材化を進めた。</p> <p>また、職員全員で現地見学を行い、知識の共有化を図った。</p>	⑤ 大変満足	<p>先人の苦勞と夢を知るとともに、地域に素晴らしい素材があることを知る機会は大変有意義な研修である。指導資料を整え、今後も継続して地域素材の教材化に努めてほしい。</p>	
	③職場体験学習の充実	<p>2年生では、体験的な学習の一環として「職場体験学習」を行った。町内の企業及び団体の協力のもと、色麻町の産業を体感することで、ふるさと理解の一助となった。</p>	④ 概ね満足	<p>町内外の企業・団体の皆様の協力を頂戴した。今後は町外での体験もさせたいが、町内でまかなえるような支援態勢づくりに期待する。</p>	
	④職員の地域見学	<p>伝習館や日の出山瓦窯跡の史跡等について、職員が研修をしたり見学し、共通理解を図った。</p>	④ 概ね満足	<p>教師が児童に指導するには、まず教師が色麻を知ることが大切であるので、よい研修である。</p>	
(13) 望ましい環境を創造する環境教育を推進する。					
	①花壇整備	<p>「花いっぱい運動」と連携して、農林課・公民館等から多くの花苗を頂戴し、また、保護者及び地域の方々からも協力していただき学校内外の環境整備に努めた。</p> <p>このことによって、体験的に自然と親しむ活動の充実を図ることができた。そして、季節の移り変わりに気付かせると共に、外部講師や協力者との交流を通して、自己の生活と身近な環境のかかわりを理解させることができた。</p>	④ 概ね満足	<p>学校内外の環境整備は、職員だけでその維持は困難であることから、人的・経済的な支援を頂戴できるのは非常にありがたい。また、子どもと学校内外関係者とのふれあいを通して、子どもの人間的な成長も期待できる。</p>	

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		②学級活動	教室内に掲示物をはったり整頓をするなどして、身近な所から望ましい環境を作り出そうとする態度を育てた。	③ 普通	
(14) 世界の中の日本を認識し、国際性を身に付ける国際理解教育を推進する。					
		①ALTとの交流学习	(小) 創意の時間や総合的な学習の時間を使って、ALTによる外国語活動を行った。 更には、昼食時や学校行事等でも触れ合う時間を設けた。 (中) ALT活用を通して、言語のみではなく異国文化にふれることで広い視野をもつ人間形成の一助となった。	④ 概ね満足	(小) ALTが授業に参加することで、児童が直接生きた英語や外国の生活の様子を知ることができた。 また、英語活動はもとより、休み時間などにもふれあっている姿が見られることは、とても良いことである。 (中) ALTの活用は言語理解・国際理解に効果的ではある。
		②国際理解教育の推進	(小) 外国語活動中核教員を中心に指導方法の研修を行ったり、国際理解教育担当者が中心になり校内の掲示を工夫したりして、啓発活動を行った。 (中) 国際理解教育を推進するために、ALT、英語科教師による諸掲示物は効果的であった。	④ 概ね満足	(小) 廊下の掲示板に、季節を表す英単語や、英語に関心を持つ表示が月ごとに工夫されている。 さらに、異国の文化や生活などにも関心をもたせるような掲示物等の工夫が必要と考える。 (中) 国際理解教育の主眼は何か。それを明確にすることができていない。異国文化理解というアプローチもあるが、自国理解にさらに努めるという手立てもある。
(15) 図書の実用と活用を図り、望ましい人格形成に役立つ図書館教育を推進する。					
		①図書館の環境整備	(色小) 司書補を中心に、畳のある部屋を設定したり、掲示を工夫したりして、使いやすい図書室づくりに努めた。 (清小) 図書室利用の方法と読書習慣を身に付けさせる活動を通して、心豊かな児童の育成に務めた。 (色中) 夏季休業中にボランティアの方々から図書整備の支援を頂いた。	③ 普通	(小) 図書の利用者も増え、親しまれていることが分かる。 今後も、図書ボランティア等を活用していきたい。 (中) ボランティアの協力により、整備はなされているが、常勤あるいは非常勤の図書司書の人的な配置があれば、朝・夕の図書室開放が可能となり、本好きの生徒を増やすことができると思われる。
		②図書室利用の活性化	図書の充実を図るとともに、図書室利用のマナー、調べ学習や授業への活用の仕方など、効果的な活用について指導やアドバイスをを行った。	③ 普通	図書委員会の活動や図書ボランティアなどを有効活用していきたい。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		③朝読書・朗読朝会・読書週間の設定	校長室前の廊下に、臨時の図書紹介場を作り、そこで本を読んだり本を借りることができるようにした。 朝読書・図書集会・昼の校内放送などによって、書籍の紹介や多読賞の発表などを行い、読書の楽しさや大切さ、その効果等について知らせ、読書に関する啓発と意欲付けを図った。	③ 普通	朝読書・朗読朝会・読書週間などを設定して、本に関心をもたせることはとても重要であるが、本を読む前に事前に上手な読み方を指導しておくことも必要と考える。
(16) 高度情報化社会に適応できる能力育成の情報教育を推進する。					
		①IT環境	ハード面が整備され、児童・生徒・教師にとって利用しやすい環境が整った。	④ 概ね満足	ハードとソフトの環境整備がなされ、快適な環境が整った。今後は使用する教職員の研修を充実させる必要がある。 また、大勢で同時にインターネットを使うと、回線が動かなくなることがあるので、その点を改善してほしい。
		②指導体制の工夫	学校支援ボランティアを活用して、外部講師を活用した。	④ 概ね満足	本年度は、情報モラル教育について、5・6年生で実施できた。今後も継続して実施してほしい。
		③年間指導計画による指導	総合的な学習の時間を利用して、コンピュータリテラシーやネチケットについての指導を行い、各教科等の学習にも活用した。	④ 概ね満足	1～6年生まで、計画的に指導している。今後も継続して積み上げてほしい。
(17) 人間尊重・福祉の心を大切にする人権・福祉教育を推進する。					
		①各種施設訪問	老人施設訪問や職場体験での体験学習を行い、交流活動を通し、人権・福祉の心を学んだ。 しかし、職場体験学習では、施設及び訪問人数は限られたものであった。	③ 普通	講話等の指導法もあるが、直接的な訪問による体験活動を、今後も充実すべきである。
		②キャップハンディ体験	4学年でキャップハンディ体験を行い、体の不自由な人に対する思いやりの心の醸成に取り組んだ。	④ 概ね満足	

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		③アルミタブ回収運動	アルミタブの回収を行い、その収益金で車椅子を施設に送る計画を立てた。	④ 概ね満足	児童や家庭がアルミタブを回収し、この活動に協力している。もう少しで車椅子が購入できる金額に達することができるので、引き続き頑張って回収してほしい。
		④教室・言語環境の整備	望ましい人間関係づくりに向け、ことばの大切さやことばが相手に与える影響等について具体的に指導した。	③ 普通	研究教科が国語であり、指導者も言語環境を大切にしてきた。次年度以降も研修を重ねていくことが大切である。
(18) 個々の発達段階や特性等を考慮した特別支援教育を推進する。					
		①特別支援教育の充実	(小) 児童一人一人の状況に応じた学習指導計画や支援計画を設定し、指導にあたった。 (中) 校内研究に特別支援教育を掲げ推進してきた経緯があり、特に配慮が必要な生徒への支援については、職員間での周知徹底をした。	④ 概ね満足	新たに転入した職員にも研究成果を紹介・徹底する場を設け、本研究を風化させない努力をしている。
		②通常学級における支援	通常学級における特別に支援を要する児童への関わり方等について、学級担任向けの具体的な支援方策のマニュアル例を作成し活用した。	④ 概ね満足	特別な配慮を要する児童についての共通理解が図られており、充実している。
		③特別支援コーディネーターによる働きかけ	特別支援コーディネーターが児童の様子を見て、どんな対応が必要かを担任等に助言した。	④ 概ね満足	コーディネーターが、障害がある児童や支援が必要な児童に積極的に関わり活動している。
		④特別支援教育についての研修	全教職員への共通理解とそのため校内研修を企画実施した。 県指定の「学習支援室システム整備事業」を実践し、LDや特別に配慮を要する児童の指導方法の開発等を行った。	④ 概ね満足	校内研修として「通常学級における、特別に支援を要する児童のニーズに合わせた指導の工夫」をテーマとして全職員で取り組んでいることは、とても良いことである。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
(19) 働く喜びや勤労の尊さを理解させるための指導を工夫する。					
		①学習田での稲作体験	5学年を中心に、学習田で代掻き・田植え・稲刈り・脱穀の体験をした。また、収穫した米を使って餅をつき、お世話になった方々に振る舞った。これらをとおして、米づくりの過程や収穫の喜びを味わった。	⑤ 大変満足	PTAの学年役員を中心に、餅つきや食事(あたご祭り)の準備をしてもらっている。準備は大変だが、PTAの協力に感謝し継続して実施してほしい。
		②畑での収穫や花壇での花栽培	1～2年生はさつまいも、3年生はエゴマ、4年生は大豆、6年生は枝豆を畑に栽培し、世話をしたり、また、収穫したものを自分たちで味わった。4年生は、収穫した大豆を使い自分たちで手作り豆腐に挑戦した。 また、各学年で花壇に花を植え、働くことの尊さとうれしさを味わわせた。	④ 概ね満足	社会福祉協議会からの補助金で、畑や花壇の植栽を行うことは、特色ある活動の一つと言える。
		③体験活動の充実	職場体験学習・修学旅行での体験を、活動から思い出させ、意欲を喚起できるようなまとめ活動を実施した。	④ 概ね満足	パネルディスカッション(発表の場)を目標に意欲的にまとめ活動を行う生徒の姿が見られた。
		④清掃活動の充実	日々の清掃活動や愛好作業を通し、額に汗することの大切さを実感できる活動を重視した。	⑤ 大変満足	教師の働きかけ、事前指導が奏功し、意欲的に取り組む生徒が多く見られた。
		⑤日々の当番活動や係活動	毎日、責任ある仕事を輪番で経験させ、みんなの役に立つという経験をさせた。	③ 普通	ほめることを意識して指導にあたり、責任を果たす経験を多くさせることは、とても良い活動である。
		⑥委員会活動の充実	学校行事などでは、高学年全員に役割をもたせた。	③ 普通	責任を果たす経験を多くさせることは、とても良いことである。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
4 幼稚園教育の充実					
(1) 創意と活力に満ちた園づくりに努める。					
		①情操教育の場の提供(幼稚園児と保護者・保育所児と保護者・支援センター利用児と保護者)	ストーリーテリングを開催し、感性や想像力を養った。音楽あそびを開催し、音楽を通して豊かな心を育んだ。体育あそびを開催し、健康な体づくりを目指した。人形劇鑑賞を開催し、優しい心と思いやりの心を育てた。などの取組を行った。	④ 概ね満足	充実した事業なので、今後も継続して実施してほしい。
		②親子ふれあい事業	親子レクリエーションを開催し、遊びを通して親子の絆を深めるように努めた。	④ 概ね満足	父母の会とも連携し、充実した活動である。今後も継続してほしい。
		③職員会議	月1回、行事を中心とした園の活動の流れについて話し合った。	③ 普通	行事のときには、小学校と幼稚園を兼務する先生の協力が必要であり、スムーズな運営ができるような話し合いが必要である。
		④家庭訪問	各家庭を訪問し、家庭での様子や地域性、園での様子を具体的に伝えた。	④ 概ね満足	クラス懇談等の全体の間では話せないことを、保護者と1対1で相談できるよい機会である。また、家庭を訪問することで、園児が教師に親近感を持つきっかけとなることが多い。
(2) 特色ある教育課程の編成とその実施改善に努める。					
		①小学校や地域とのふれ合い	世代間交流事業(清水地区コミュニティーセンター)との連携や清水小学校との交流を積極的に実施した。運動会、学習発表会の合同開催	⑤ 大変満足	小学校とは、児童理解から学校行事に至るまで、共通理解を図ることができている。
		②様々な関係機関との連携を図った保育内容の充実	公民館、清水地区コミュニティーセンター、各種民間団体等とも連携し、遠足や体験活動などを多く取り入れた。	⑤ 大変満足	今後も各関係機関との連携をとりながら、保育内容の充実に努めてほしい。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		③園外保育	6月に愛宕山で外遊び, 10月に南山果樹園でリンゴ狩り, 加美農業高校で栗拾い等の自然体験活動を行った。	③ 普通	地域を理解するよい機会なので, 今後も様々な体験活動を行ってほしい。
		④儀式的行事	入園式, 修了式, 学期毎の始業式終業式を行い, 園生活にけじめと区切りをつけた。	④ 概ね満足	入園式や修了式には来賓もいるので, 園児も式の意義を感じ取り立派に行動している。
		⑤健康・文化的行事	運動会, おゆうぎ会の実施。	④ 概ね満足	普段の保育の成果を披露するよい機会である。 また, 父母の会の役員を中心に進行や準備を手伝ってもらっていることに感謝する。
(3) 教育内容の充実と指導方法の改善に努める。					
		①定例会	町内の幼稚園で研究テーマを決めて, 月1回話し合いを行った。	③ 普通	研究テーマに基づいて, 園児をどう指導したらよいか指導を振り返ることは, とても大切なことである。
		②人とかかわりをテーマとした園内研究	子どもたち同志がかかわり合えるように, 環境構成や支援のあり方を実践研究した。	④ 概ね満足	「かかわり」を意識した保育を充実させた。
		③指導主事訪問	宮城県北部教育事務所の指導主事の先生から, 保育全般, 研究等について指導をいただいた。	⑤ 大変満足	指導主事からの確かな指導・助言をいただき大変有効であった。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
(4) 幼児期から児童期への発達段階を踏まえた幼・保・小の連携に努める。					
	<p>①小学校教諭との連携</p> <p>②小学校との交流</p> <p>③学校行事の連携</p>	<p>特に年長組については、1年生の担任と卒園時期の保育内容について検討し、スムーズな小学校への進学ができるようなカリキュラムづくりをした。</p> <p>小学校1年生の「できるようになったよ発表会」へ参加した。 小学校の学芸会の様子も見学した。</p> <p>運動会、避難訓練、交通安全教室等、様々な行事を合同で実施した。</p>	<p>④ 概ね満足</p> <p>⑤ 大変満足</p> <p>⑤ 大変満足</p>	<p>小学校の4月当初のカリキュラムについては、幼稚園教諭と1年生担任が、一緒になり作成した。特に生活面での指導が一本化して、子どもたちもスムーズな小学校生活に入れた。</p> <p>1年前までは同じ幼稚園で生活していた友達が、1年生として立派に活動している姿を見ることで、園児は小学校生活に夢や親しみを持つことができる。</p> <p>幼稚園児が、小学校の児童と直にふれ合うことによって、刺激になり、成長につながっている。今後も継続して実施してほしい。</p>	
(5) 家庭や地域・関係機関との連携に努める。					
	<p>①親子ふれあい事業</p> <p>②父母の会</p> <p>③公民館との共催行事</p>	<p>親子レクリエーションを開催し、遊びを通して親子の絆を深めるように努めた。</p> <p>父母の会を組織し、園行事を手伝っていただいたり、意見交換をした。</p> <p>保育参観時の講演会、親子ふれあい行事、祖父母とのふれあい行事を公民館と共催で行った。</p>	<p>④ 概ね満足</p> <p>④ 概ね満足</p> <p>⑤ 大変満足</p>	<p>父母の会との連携をさらに図っていく必要がある。</p> <p>子育てを園と一緒にやるという意識を持ってもらっており、その結果、行事等で役員の力強い協力を得ることができている。</p> <p>参加した父母からも好評なので、今後も継続して実施してほしい。</p>	

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
5 教職員の資質の向上と福利厚生の実現					
(1) 教職員の研修の充実強化と実践的研究の推進に努める。					
	①校内研修・校内研究	先進校視察・各種研修会・実技研修・英語活動指導法研修会など、計画的に実施し研修を深めた。	④ 概ね満足	伝達講習する時間確保が難しい中、ワンペーパーで周知するようにしたことは大変すばらしい。	
	②校内研究体制の確立と内容の充実	研究主任を中心として、「確かな国語力を身につけさせるための指導のあり方」を校内研究のテーマとして掲げ、全職員が研究授業を実施、共通理解のもとに取り組んだ。	④ 概ね満足	今後も全員参加の模擬授業や事後の検討会などを積み上げていってほしい。	
	③幼稚園自主研修の実施	夏休み中に自主研修の一つとして、講師の先生を招いて勉強会を行った。	④ 概ね満足	内容の濃い研修内容だった。今後も園児のため様々な研修会を行い勉強してほしい。	
	④現職教育の実施	中新田消防署色麻派出所の職員から救急救命法の講習を受けた。 更新されたパソコンの利用について、講習会を行った。 大型テレビや実物投影機、電子黒板の使い方の講習を行った。 外国語活動の指導法について、7時間の研修を行った。	④ 概ね満足	どれも現職教育として必要なことであり、今後も継続して行ってほしい。	
(2) 教職員の服務規律遵守の徹底に努める。					
	①職員への指導	校長が職員会議や打ち合わせの時間等を使い、服務規律の遵守について指導を行った。	④ 概ね満足	県内の教職員に不祥事がある度に、校長から指導があった。また、本校職員が職員クラブ等の行事で酒席を設けるような場合にも、事前に指導が行われた。 今後も事故や不祥事などを起こさないような努力が必要である。	

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
(3) 教職員の健康管理と福利厚生 of 充実に努める。					
	<p>① 町教育研究会主催・教育委員会共催レクリエーション研修</p> <p>② 職員の心身の健康情况的な把握</p> <p>③ 健康診断の実施と日々の健康相談</p>	<p>小中一貫教育について「豊里小中学校」から講師を招聘して研修会を実施した。レクリエーションとして「風船バレーボール」を行った。全教職員・教育委員を対象として、楽しく研修ができた。</p> <p>日常の会話等から、職員の心身の健康状態の把握に努めた。</p> <p>学校保健安全計画に則り、教職員の健康保持増進に努めた。また、「学校保健・給食委員会」において、学校医・薬剤師・給食センター所長などと、教職員の健康について協議を行った。</p>	<p>④ 概ね満足</p> <p>④ 概ね満足</p> <p>④ 概ね満足</p>	<p>町内教職員の貴重な交流の場となっているので、今後も継続して実施してほしい。</p> <p>日々の観察、声かけをとおして、心身の健康状態を把握するよう努めている。</p> <p>「学校保健・給食委員会」には、毎年数名の校医先生が出席し、貴重な話を聞くことができている。</p>	
6 学校環境の安全並びに教育施設の充実と活用					
(1) 学校環境の安全と整備を図る。					
	<p>① 安全点検の実施</p> <p>② 職員による校内巡視</p>	<p>全教職員で、毎月一回安全点検日を設定し、危険箇所がないか、校庭の遊具は安全かなどを点検し修繕を心がけた。また、学校薬剤師が定期的に空気や飲み水検査を行った。 ※ 記録の累積と修繕等の対応。(だれが、どのように、手順等)</p> <p>日直による校内巡視や休み時間後の昇降口の施錠を行い安全の確保を行った。</p>	<p>⑤ 大変満足</p> <p>③ 普通</p>	<p>点検表に観点がないので、今後は点検箇所をもっと詳しくみるための項立てが必要だと考える。</p> <p>業間後と昼休み後には、昇降口の施錠を行い、不審者の侵入が無いように努めた。今後も不審者対策を継続し、安全の確保をお願いしたい。</p>	

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		③学校周辺や通学路の点検	PTAの協力を得て、学校周辺や通学路の年一回の点検を実施した。	④ 概ね満足	PTA育成部とも連携しながら今後も取り組んでほしい。
		④父母教師会による奉仕作業	父母教師会で、春と夏に校地内の環境整備作業を行った。	④ 概ね満足	高学年の児童にも参加を呼びかけ、親子で一緒に作業をする望ましい姿が見られた。
(2) 施設設備の充実と活用を図る。					
		①地域並びに社会教育への積極的な開放	講堂・校庭を社会体育等(少年団・地区等)の使用に貸与した。	③ 普通	使用の仕方について共通理解をしながら、貸与していく必要がある。(トイレの使用や施錠の確認など)
		②校内施設設備の改善や修繕	危険箇所は修繕したり、必要な施設設備は年度計画に則って更新を行った。	③ 普通	今後も年次計画に則って更新してほしい。
(3) 教材教具の整備と活用を図る。					
		①備品整理・台帳整理	長期休業中や学期の終わりに、各教科の備品の整備や台帳の整備を行った。	③ 普通	現状をしっかり把握し、適切な対応をしてほしい。
		②備品購入	教科部ごと・学年ごとに申請し、全校で調整を図りながら、計画を立てた。	③ 普通	
		③教材教具・備品の点検と整備活用	年一回の各教科等の備品の点検を実施すると共に、必要な備品についても調査した。	③ 普通	

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
7 生涯学習推進計画に基づく生涯学習の推進					
(1) 学習機会の拡充と生涯学習情報の提供に努める。					
	<p>①生涯学習関係行事予定表の全戸配布による情報の提供</p> <p>②出前講座等を活用した学習機会の提供</p> <p>③広報紙や町のホームページ、有線放送を活用した学習情報の提供</p>	<p>毎年4月と10月に、上半期及び下半期の予定表を全戸に配布し、生涯学習行事の情報提供に努めた。</p> <p>町民の方が学びたい内容を学習メニューから選び、町の職員が講師となり講話等を行い、多くの町民に学習の機会を提供した。</p> <p>生涯学習行事を広報紙に掲載し、併せて有線放送を活用して学習情報の提供と参加を呼びかけた。</p>	<p>④ 概ね満足</p> <p>④ 概ね満足</p> <p>② やや不十分</p>	<p>大変感謝されている。有線放送のない家庭もあるので、今後はネット配信なども視野に入れながら更なる充実を期待する。</p> <p>色麻小4年生を対象に「荒川堰現地調査」と、清水小学校6年生を対象に「色麻町の遺跡探訪」の2つの事業を実施したが、大変好評であった。</p> <p>町のホームページに掲載できなかったため、今後はホームページを積極的に活用していくことを望む。</p>	
(2) 生涯学習の学習環境づくりを推進する。					
	<p>①学校、家庭及び地域住民等相互の連携協力の推進</p> <p>②新たな指導者の育成とボランティアの養成</p> <p>③既存のサークル活動への支援</p>	<p>町広報紙への掲載や事業毎のチラシの配布等、本町独自の広報手段である有線放送の活用により、詳細な学習情報の提供に努めた。</p> <p>地域から人材を発掘し、コーディネーター養成講座に参加してもらい、学校支援地域本部事業に配置した。</p> <p>現在文化協会の加盟団体数は31団体で、会報の発行や、色麻町民文化祭、みやぎ県民文化祭など、活動を支援した。</p>	<p>② やや不十分</p> <p>④ 概ね満足</p> <p>④ 概ね満足</p>	<p>町のホームページに掲載できなかったため、今後はホームページを積極的に活用していくことを望む。</p> <p>支援地域本部事業において、コーディネーターの役割を十分発揮できた。</p> <p>色麻町文化協会創立30周年記念誌に発行を始め、積極的な活動が見られた。</p>	

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		④学習講座参加者による継続学習のためのサークル移行の推進	公民館で実施した学習講座を、参加者同士が継続して学習するために、文化協会などに入会して、サークルとして自主運営への移行を推進した。	④ 概ね満足	色麻歴史訪ね歩き会、太極拳クラブ、悠琴倶楽部の3団体がサークルとして自主運営への移行した。
(3)生涯学習施設の効果的活用の促進に努める。					
		①気軽に利用できる環境づくりと学校教育施設の開放	町民の学習の場として、学習活動、芸術や趣味の活動、レクリエーション活動及び会議等の目的で、気軽に利用できる環境づくりを努めた。	④ 概ね満足	学校教育施設の有効活用がしやすい環境作りに努めた。
8 生涯各期の課題に応じた学級、講座等の充実					
(1)幼児教育の充実に努める。					
		①幼児期を対象とした情操教育の場の提供	音楽あそび・体育遊び・わらべうた・親子レクリエーション・人形劇鑑賞などの学習機会を提供した。	④ 概ね満足	幼稚園・保育所及び児童センターの親子を対象に、学習機会を提供し、多くの参加を得た。
		②幼稚園・保育所及び児童センターとの連携強化	幼稚園・保育所及び支援センターが連携強化を図り、効率よく幼児教育事業を展開した。	④ 概ね満足	幼稚園・保育所及び支援センターが協力して、事業に取り組んだ。
(2)家庭教育の充実に努める。					
		①家庭教育活性化の支援・推進	学習参観等の機会を活用して、多くの保護者を対象に、家庭教育に関する情報及び学習の機会を提供した。	④ 概ね満足	幼稚園・保育所及び支援センターの親子を対象に、5回にわたり、講演会を開催し、多くの参加を得た。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		②子育てに関する相談体制の整備	放課後子ども教室や学童保育の場において、訪問型家庭教育相談体制充実事業や子育てサポーター養成講座に関わった安全管理員が、送迎に来る保護者からの家庭教育や子育てに関する相談を受けた。	④ 概ね満足	積水ハウスや、支援センターを訪問し、保護者からの家庭教育や子育てに関する相談を受けた。
		③地域の実情に合った子育て・親育ち講座の提供	子育て・親育ち講座を開催し、家庭教育に関する情報を提供した。	④ 概ね満足	幼稚園・保育所及び児童センターの保護者を対象に、講演会を開催し、多くの参加を得た。
(3) 青少年教育の充実に努める。					
		①地域教育力の再生に向けた青少年の体験活動・ボランティア活動の支援	サマーキャンプ・こどものまち・合宿通学など、体験活動を通して、青少年の豊かな人間性を育成した。	② やや不十分	サマーキャンプ・こどものまちは、大盛況であったが、合宿通学は、インフルエンザの流行が心配されたため、一泊のみで中止した。
		②地域ぐるみで子ども育てる体制の整備	家庭・学校・地域社会・警察・行政等が一体となり、相互の連絡を密にして、青少年の非行を未然に防止し、健全な青少年の育成に努めた。	③ 普通	家庭・学校・地域社会・警察・行政等で組織する、色麻町青少年問題協議会において、青少年の非行防止について協議した。
		③放課後における子どもたちの安全・安心な居場所の確保	放課後子ども教室と学童保育を連携して、小学校区ごとに、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成に努めた。	④ 概ね満足	放課後子ども教室と学童保育を連携して、小学校区ごとに、放課後の指導に努めた。
		④ジュニア・リーダーの育成と地域貢献機会の拡大	各種研修会に積極的に参加し、ジュニア・リーダーの資質を高めるとともに、地域に貢献できる機会を構築した。	③ 普通	各種研修会に積極的に参加し、各種事業において、活躍した。もう少し、人材の確保に努めてほしい。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		⑤青少年の広域的な出会いや交流機会の提供	みやぎ青年交流推進センターと連携しながら、結婚相談を実施した。	② やや不十分	相談会を開催したが、参加者が少ないので、今後、結婚を希望する男女の出会いや交流の場、親同士のお見合いの場など、交流機会を提供する必要がある。
		⑥青年の地域活動支援	地域の青年を中心に多世代の人々が一堂に会し、文化活動の発表やフェスティバル的イベントを行う大崎地区青年文化祭「ユースフェスティバル」への参加を支援した。	② やや不十分	四竈櫻商太鼓が大崎地区青年文化祭「ユースフェスティバル」へ参加した。
(4) 成人教育の充実に努める。					
		①成人の多様な学習ニーズに対応する事業の推進と学習機会の拡大	成人の多様な学習ニーズに対応した、ヨガ教室・パソコン教室・琴教室・絵手紙教室を開催した。	④ 概ね満足	ヨガ教室・パソコン教室・琴教室・絵手紙教室を開催し、多くの参加があった。
		②外国語や異文化にふれあう機会の提供と国際理解の推進	国際交流パーティーを行い、外国語や異文化にふれあう機会を提供した。	② やや不十分	交流パーティーや英会話教室を企画したが、参加者が少なかった。
		③ボランティア活動と地域活動への参加の推進	町や各種実行委員会が行う行事に、官民協働のまちづくりを推進するため、地域の方々にボランティアとして参加していただいた。	④ 概ね満足	小中学校において、花壇づくり・裁縫の指導・えごま栽培・米作り等の指導をもらった。
(5) 女性教育の充実に努める。					
		①女性の特性を活かした地域社会活動への参加の推進	社会活動や教養講座など婦人会が行う事業を援助し、成人女性の資質や能力の向上を図った。	③ 普通	婦人会が行う各種事業を推進するために、援助した。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		②ニーズに即した学習講座・学習教室等の実施	布ぞうりづくり・パンフラワー教室・お米子粉を使ったスイーツと料理づくりなど成人女性を対象に、各種講座を開催した。	③ 普通	いきいき女性セミナーとして、各種事業を企画し、10名程度の参加を得た。もう少し参加者が増えるよう努力が必要である。
(6) 高齢者教育の充実に努める。					
		①高齢者の多様化・高度化する学習ニーズに応じた学習機会の提供	60歳以上の町民を対象とし、各地区の世話人の協力により高齢者学級への参加を募り、共通の興味・関心等を追究する活動を通して、生きがいの実現や自己実現を図る学習の機会を提供した。	③ 普通	毎年入会するが、高齢のため脱会する方もいるので、概ね160名の会員数で推移している。
		②高齢者の「健康」と「生きがい」につながる学習講座等の実施	福祉課の「活き生き長生き講座」との共催により、脳トレーニング・食事・手軽な運動健康・認知症の理解などの講話を実施した。また、警察の協力により、振り込め詐欺・架空請求・リフォーム詐欺・靈感・催眠商法など詐欺被害の実例と対応についての学習講座を開催した。	④ 概ね満足	6回にわたる講演会には、多くの方に参加をいただいた。施設見学会の参加が18名と、やや少なかったため、多くの方が参加できるような工夫が必要である。
9 文化・芸術活動の振興					
(1) 巡回小劇場、青少年劇場小公演の実施など芸術鑑賞機会の提供と拡充に努める。					
		①宮城県青少年劇場	色麻中学校全生徒を対象に、水野与旨久マリンバコンサートを実施した。	④ 概ね満足	プロによる生の演奏に触れる機会を与え、中学生の感動を得ることができた。
		②宮城県巡回小劇場	色麻小学校・清水小学校児童を対象に、劇団芸優座の演劇「一休さん」を実施した。	④ 概ね満足	子どもに親しまれる「一休さん」を演じたことで、好評を得た。
		③PTA教養部事業の実施	PTA教養部の行事として陸前太鼓の演奏会を行い、全校児童で鑑賞した。	④ 概ね満足	5時間目に学習参観を行い、その後の6時間目にPTA教養部行事を授業として鑑賞するようにした。大変好評であった。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		(2)文化活動の推進を目指し、文化協会やサークルなど芸術・文化活動の担い手の育成の支援に努めるとともに、活動の成果を発表する場を積極的に設定する。			
		①さなぶり芸能大会	婦人会各支部・文化協会加盟団体が主催し、郷土芸能の発表、婦人会チャリティショー、民謡発表などを行った。	④ 概ね満足	町民500名が参加し、盛大に開催された。婦人会や、文化協会の発表の場として、今後も継続してほしい。
		②町民文化祭	文化協会加盟団体が主催し、作品の展示及び、ステージ発表を行った。	④ 概ね満足	文化協会の常日頃の活動を、町民秋祭りに合わせて開催し、多くの町民に発表する機会となった。
10 文化財保護体制の整備充実と活用の推進					
		(1)文化財保護思想の普及と保護体制の充実に努める。			
		①開発行為	馬古沢溜池工事に係る日の出山瓦窯跡の確認調査、個人住宅建替に係る色麻古墳群の工事立会、町道改良舗装工事に係る薬師堂遺跡及び薬師堂館跡の現地協議を実施した。	③ 普通	今年度は、3件の事案があり、立会による確認作業を行った。
		②発掘調査	日の出山瓦窯跡F地点発掘調査及び現地説明会を実施した。	④ 概ね満足	宮城県多賀城城跡調査研究所と共催により発掘調査を実施した。その結果、窯跡・作業場・工房などが発見された。引き続き調査を継続して実施してほしい。
		(2)文化財の特性に応じた整備と活用を積極的に推進する。			
		①史跡整備等	史跡アクセス道路の草刈り、敷砂利等の整備を行った。	③ 普通	町の史跡を多くの方に見ていただくよう、2回にわたり整備作業を実施した。
		(3)文化伝承芸能活動を積極的に支援し、子どもたちが地域に残る文化にふれあう機会の充実に努める。			
		①町指定文化伝承芸能活動の奨励	町が指定している清水田植え踊りと清水神楽を伝承するために、各保存会に奨励金を交付した。	③ 普通	通年どおり奨励金の交付をし、町指定の2団体に文化伝承芸能活動を支援した。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		②町郷土芸能復興活動の奨励	郷土芸能を復興、存続を奨励するため、高城獅子舞保存会・カッパブギ色麻・河童太鼓・仙北麦つき踊り保存会・桜花太鼓・松坂節保存会・色麻小河童太鼓・清水小清水神楽の8団体に奨励金を交付した。	③ 普通	通年どおり奨励金の交付をし、地域文化の伝承芸能活動を支援した。
(4)町内の文化財や資料展示室を活用した学習機会の提供に努める。					
		①史跡めぐり・出前講座	小学校の校外学習、教職員の初任者研修の事業で、指導を行った。	③ 普通	小学校児童と、転入教職員に対し、町内の史跡を案内し、指導を行った。 また、校外学習で荒川堰の見学会を実施した。
		②資料展示室内の展示・学習機会の提供	資料展示室の開室記念式典を開催、寄贈された能面・陶磁器・切手の他に、町内から出土した土器・瓦や、町内にある古文書や彫刻、町内の方が制作した刀剣など貴重な文化財を多くの町内外の方に観覧してもらうように努めた。	④ 概ね満足	新たに資料展示室が開室され、記念式典を実施した。 多くの方に観覧してもらっている。
11 生涯スポーツの推進					
(1)町のスポーツ振興を図るため、平成22年度を目標に基本計画を策定する。					
		①町体育施設の環境整備	町民体育館・屋外運動場・武道館・テニスコートの清掃点検業務を行った。	③ 普通	各施設を気持ちよく且つ安全に使用していただくよう、清掃及び点検に努めた。
(2)誰でも気軽に訪れてスポーツができる環境の整備に努めるとともに、町内体育施設の効率的活用に努め、生涯スポーツの普及と振興を図る。					
		①町体育協会の積極的活動	加盟団体16団体420名を中心に、各種スポーツの普及と振興に努めた。	④ 概ね満足	各種団体が、お互いに協力して、生涯スポーツの普及に努めた。
(3)官民協働で主催する町民大運動会やチャレンジデーの開催をはじめ、体育協会との緊密な連携のもとに、各種スポーツ大会を実施する。					
		①町民大運動会の開催	実行委員会を組織し、プログラム、予算など、多くの町民が参加しやすく、楽しめる運動会になるよう検討した。	④ 概ね満足	町民が一同に会し、スポーツをとおしてお互いのコミュニケーションを図ることができた。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
		②チャレンジデーの開催	毎年5月の最終水曜日に、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、5分以上継続して何らかの運動やスポーツで身体を動かした住民の「参加率(%)」を競い合う住民参加型のスポーツイベント。21年度は岩手県葛巻町が対戦相手であった。	④ 概ね満足	岩手県葛巻町が対戦相手で、残念ながら敗れたが、65%を上回る結果となり、金メダルを受領することができた。
(4) 子どもの体力の低下や生活習慣病の低年齢化などが懸念されることを踏まえ、体力向上や健康づくりに努める。					
		①親子レクリエーションの開催	家族や仲間を楽しむレクリエーションを通して、体力向上や健康づくりに努めた。	④ 概ね満足	幼稚園と支援センターの親子を対象に、県レクリエーション協会から講師を招き3回にわたり実施し、好評を得た。
		②体育遊びの開催	色々な運動を体験させ、楽しく活動することで基本的な運動能力を身につくよう体育遊びを実施した。	④ 概ね満足	幼稚園と支援センターの親子を対象に、ハートウイング加藤一茂氏を講師に招き4回にわたり実施し、好評を得た。
(5) スポーツ少年団活動の支援に努める。					
		①町スポーツ少年団への支援体制	スポーツ少年団結成の促進と育成援助。スポーツ少年団指導者及びリーダーの育成。	④ 概ね満足	入団式、運動適正テスト、スポ少しかまの発行など、スポーツ少年団結成の促進と育成援助に努めた。また、スポーツリーダー養成研修会に7名が参加した。
		②町スポーツ少年団指導者協議会の設置	指導者相互の連帯と指導力の向上を図るとともに、指導活動の促進方策について協議町スポーツ少年団に意見を具申した。	③ 普通	町スポーツ少年団指導者協議会の設置し、指導活動の促進方策について話し合った。
		③スポーツ少年団の活動の紹介	PTA総会などの場で保護者にスポーツ少年団の活動を紹介したり、朝会や学校便りで優秀な成績をとった団体を紹介した。	④ 概ね満足	朝会で紹介を受けることは、参加した児童にとって大変うれしく励みになることである。朝会で紹介を行う時間がない場合は、お昼の校内放送を使って紹介されたい。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
12 図書室・図書等の有効利用の推進					
(1) 図書室の利用や図書等の活用を推進し町民に親しまれる図書室の運用に努める。					
	①図書関係事業	図書	図書の貸出業務、新刊図書の購入及び紹介を町広報紙を活用して周知した。	③ 普通	図書の貸出業務は、一般の利用は概ね良好だったが、中・高生の利用が比較的少なかった。
(2) 読書離れが進むなかで、子どものときから読書習慣の定着が図られるような図書環境づくりに努める。					
	①幼・保連携による移動図書「なかよし号」の実施	6月～2月にかけて、毎月幼稚園・保育所を巡回訪問した。		③ 普通	毎月4回、幼稚園・保育所を巡回訪問し、読書習慣の定着に努めた。
	②図書の貸出や読み聞かせを通じた読書活動の推進	地域ボランティアにより、読書活動を推進した。		③ 普通	幼稚園・保育所を訪問し、地域ボランティアによる、絵本の読み聞かせや紙芝居を実施することができた。
13 情報技術・視聴覚教育の充実と振興					
(1) 大崎生涯学習センターより貸し出される各種視聴覚ソフトの借用手続き等の普及啓蒙を図るとともに、それらを活用した学習活動に努める。					
	①大崎生涯学習センターの利用案内	大崎生涯学習センターは、視聴覚施設・伝統文化室・研修室・情報ロビー・多目的ホール・体験展示室・ふれあい広場・プラネタリウム館・天体ドームなどの設備が充実しているので、町民に利用を呼びかけた。		③ 普通	大崎生涯学習センターの利用について、小・中学校及び町民に周知した。
(2) 大崎生涯学習センターを活用し、情報やデータを取り扱う上で必要となる基本的な知識や能力を習得する機会を提供する。					
	①大崎生涯学習センターの有効活用	小・中学校の理科・総合的な学習の時間・遠足・PTA行事などで利用した。		④ 概ね満足	16ミリ映画フィルム・ビデオ・DVDの利用が、幼稚園及び小・中学校においては、概ね良好であったが、社会教育関係の利用がやや少ないので、有効利用に努めてほしい。
14 外国青年英語指導助手招致事業					
(1) 地道で確実な学校経営による創意と活力に満ちた学校づくりに努める。					
	①外国語(英語)授業の補助に関係すること	ALT訪問計画表を策定した。		③ 普通	小中学校のみならず、幼稚園・保育所での活動もあり、評価できる。

教育の重点	具体的施策	主要事業	主要事業の内容	達成度の評価	評価及び改善策
15 奨学事業運営事業					
		(1)奨学資金貸付金貸与者選考, 貸付け, 返還及び基金造成に関する事。			
		①奨学資金の貸付, 返還に関する事	貸付申込者について, 奨学事業運営委員会に諮問をし, 選考を行い, 品行方正にして学業優秀で就学を希望しているにもかかわらず, 経済的理由により, 就学困難な生徒に対し奨学資金の貸付けを行った。貸付満了者については, 計画的な返還がなされている。 また, 奨学事業運営のための基金の造成も計画的に行った。 ・貸付者 31人 ・返還者 101人	④ 概ね満足	事業の趣旨に沿った, 良好な運営がなされているが, さらなる計画的な返還及び未納額の減少に努める必要がある。
16 児童生徒の通学確保に関する事業					
		(1)児童生徒送迎事業。			
		①児童送迎事業	小学校児童の通学手段として, バスを運行し, 安全且つ確実に送迎を行った。 ・利用者 色麻小学校 116人 41% 清水小学校 49人 34% 色麻中学校 104人 53%	③ 普通	校門付近の安全確保が課題である。保護者の送迎車と交錯し, 徒歩で登下校する児童も危険な状態がある。
17 幼稚園児の通園確保に関する事業					
		(1)園児送迎事業。			
		①園児送迎事業	幼稚園児の通園通学手段として, バスを運行し, 安全且つ確実に送迎を行った。 ・利用者 色麻幼稚園 48人 86% 清水幼稚園 20人 61%	⑤ 大変満足	しっかりと安全確保されている。

# 色麻町教育委員会事務事業点検評価意見書

(平成21年度事業)

## 色麻町教育委員会事務事業点検評価（平成21年度事業）意見書

教育委員会は学校教育並びに社会教育の充実など生涯各期にわたる教育活動を通じて、町民一人一人が健康的で生き甲斐のある生活が送れるよう毎年度「教育基本方針」を策定し、それに基づき各種の事業を展開し推進している。また、教育委員は毎月教育委員会を開催し、教育行政の適正な運営がなされているか確認するとともに、学校教育・社会教育の現場を訪問しながら教育の現状を把握し、さらに充実した教育の推進に努めていることに敬意を表したい。

これら数多くの事業は、即効果が現れ満足であると評価できることは極希であると思われるが、複数年にわたり事業継続し、かつ各年度事業を分析しながら改善見直しを図るなど、より実効性のある事業に厳選しながら実施することが各担当者に課せられた職務上の責務である。

こうした中、教育委員会内部での主要施策における点検評価を行うことは、真に開かれた教育委員会として「学校」「家庭」「地域」との連携が強化され一層教育行政の充実発展が期待されるものである。また、事業が多岐に渡るなか、ひとつひとつ丁寧な評価および改善策が示されており、教育委員会の熱意と意欲が感じられる。さらに平成21年度は項目毎の詳細な評価が総合的に一目で分かるよう、達成状況を5段階で評価するものに大幅な様式の改善を図られたことに感謝したい。

平成21年度における各種主要事業の評価等の結果を拝見すると、大変満足7.8%、概ね満足56.8%、合わせて64.6%の素晴らしい達成状況が得られたことは、教育基本方針に基づく現在の主要施策の進め方については概ね妥当との見解を示されたものであると同時に、教育委員会の事業が円滑に実施されている証であると考えられる。一方、やや不十分3.1%の根本的原因を深掘し、更なる改善に期待するものである。

これらの事業内容について評価を申し上げると、学校教育全般については、生徒指導と学習指導の一体化を図り、学力向上に資するよう、より精度の高い評価となる為の継続・改善を重ねていくことを期待する。小・中学校教育の充実については、学校支援ボランティアや清水地区コミュニティセンターの世代間交流などが評価でき、また、各校の大会参加や上位入賞のニュースが多く聞かれ大変うれしく思う。今後も健康増進を意図に指導を期待するものである。ただ、図書館教育推進については、あまり成果がみられないので、読書意欲や能力を高める読書活動推進を図っていただきたい。教職員の資

質の向上と福利厚生の充実については、研修会を通しての資質向上に期待はできるが、生徒指導における児童生徒に対する対応の仕方（叱り方・注意の仕方）に疑問を感じることもある。教員の実践的指導力を養う研修を多く取り入れ、常に指導者としての人間性や道徳力を高めるとともに、必要な力量と現状のギャップを埋めるためのスキルアップを、ぜひ充実した環境や施策として最大限取り入れていただきたい。生涯学習推進計画については、達成度が低いので町のホームページを積極的に有効利用することに期待する。

現在、本町の重要事業として、次代を担う子ども達のため本町学校教育の根幹をなす小中一貫教育に係る事業を推進しているが、当推進室の発足後、毎月「小中一貫教育推進室だより」を全家庭に配付し、更に町有線放送を広報媒体として、新たに「教育委員会だより」の企画放送に取り組むなど、町民に説明責任を果たし信頼される教育行政に努められていることは正に評価に値するものであるが、中嶋地区についても、小中一貫教育推進室だより・広報しかま等の情報を発信すべきと考える。小中一貫教育は、教育改善より施設の統合目的がまだ感じられ、現行制度を根底から覆すほどの説得力は感じられない。小中一貫教育が幅広い支持を得るために克服すべき課題は多く、今後も多くの関係者と一致協力して目標達成出来るよう期待する。

地方分権の推進とともに避けて通ることの出来ない行財政改革、そして少子高齢化が益々進行している状況のなか、今後も主要な事業の達成度を分析評価し、教育委員会部局と町長部局と地域に根ざした事業との連携も模索するなど、限られた事業予算のなかで更に効率的で効果的な事業が推進されるよう切に願います。

最後に、地球規模で社会情勢が急激に変化する近年、子どもたちを取り巻く生活環境の変化は著しく複雑化している。それに逸脱されることなく、教育委員会として日頃の教育環境の現状把握に努め、色麻の子どもたち、そして町民の生涯教育に渡るまで、幅広く活発な意見や議論を期待するものである。

#### 色麻町教育委員会事務事業点検評価委員

武	藤	とし子
高	橋	宣行
浅	野	孝幸

平成22年9月

評 価 者

色麻町教育委員会

学識経験者

委員長 児 玉 輝 夫

武 藤 とし子

委 員 佐々木 景 喜

高 橋 宣 行

委 員 小 川 泰 子

浅 野 孝 幸

委 員 竹 荒 典 子

教育長 菅 原 利 之